# 島前高校だより

## 生徒会長インタビュー

### 島前の人達と一緒に楽しみたい！

今回の島前高校だよりは、この春、新しく生徒会長になった伊藤圭那さん（西ノ島町出身）に、島前高校の様子を聞きました。

**・島前高校の魅力は何か。**

勉強ができる「頭のいい人」ではなくて、違うところで「頭のいい人」が多いところです。たとえば、イベントの企画をし始めると、私の考えに大人顔負けの鋭い突っ込みを入れてくる。企画を成し遂げるまでの、見通しが持てているから突っ込める。

でも、その力は初めから備わっているわけではないと思います。

島前高校は学校で「夢探究」の授業を受けています。そのような授業の中で、とにかく大人からいろいろな質問をされながら、【考える→やってみる→更にうまくいくよう考え直す…】。このサイクルを繰り返すことで、鋭い突っ込みができる力を身につけていると思います。

島前地域の中だけでなく、島前地域の外にも出て挑戦している人が多いことも魅力の一つです。地域内では、3年生が「地域貢献デー」ということで「チャレンジデー」の日に各地の公民館で地域の方と運動をしたり、運動部で産業文化祭に出店したりしました。私たち女子バレー部で出店した「キムたくご飯」は好評だったので、キンニャモニャ祭りでも出店しようかと話しています（笑）。

地域外には、「グローバル探究」でブータンやロシアに探究活動に出かけています。私は昨年度、ブータンに行ってきました。きっかけは、島前地域外から来た生徒ばかりがグローバル探究に参加していたから。そんな理由で参加したけど、得るものは多かったです。ブータンの方々が、ブータンをとても大切にしている姿を見て、「高校生も中学生も、もっと地域の伝統・文化にふれてほしい。たくさんの伝統・文化があるのに、それにふれないなんてもったいない。」そんなことに気づかされるチャンスが島前高校にはあります。

**・生徒会長になって、島前高校をどのような学校にしたいと考えているか。**

結構難しいことかもしれませんが、地域の人と一緒にできる行事を何かやってみたいです。私は、島前の出身者です。周りにいる人に、小さい頃からたくさんお世話になっています。でも、そのことはあたり前になってしまっていて、感謝の気持ちを伝えるようなことをしてこなかったんですね。

その感謝の気持ちを伝えたい。地域の人と一緒に何かすれば、楽しさは感じる。感謝の気持ちまでは生まれなくても、地域の人と交流する楽しさを一人でも多くの生徒に感じてほしい。まずは、そこから始めたいです。

**・生徒会として、今はどのような活動をしているのか。**

今は、生徒会の規則を変えようと動いています。

「地域の人と、一緒に何かする」という動きは、何もできていません。今考えていることは、「9月の学園祭を、地域の人も保護者も生徒も一緒になって楽しめるものにしたい。」ということです。高校生が主役の学園祭にはなるのですが、見に来る人も本当に楽しむことができる学園祭にしたいです。そのために、魅力化推進協議会の方や家督会の人の協力も求めたいです。まだまだ具体的なことは考えていませんが、たくさんの人の力を借りて、みんなで「楽しい学園祭にするためにはどうすればいいか。」を考えたいです。

**・最後に海士町の皆さんに一言**

高校生が地域に出かけている姿を見た際には、「こんなことをしてほしい。」というリクエストをどんどんしてください。

今は、「これをやらせてください。」と高校生の方からお願いをしているように思います。それに加えて、地域の皆さんからも声をかけていただき、島前高校が地域から求められる学校になるといいと思っています。よろしくお願いします！

島前地域で活動する高校生に、どしどし声をかけていただけますと有り難いです。